

## 青山 AWC 第 7 期 (2020 年 7 月着任) チューターからの歓迎コメント

大学で書くことになるレポートや論文には、論理的な文章構成、参考文献の表記や表現方法など守るべき一定のルールがあります。感想文と同じような書き方や小説のような表現はできません。慣れるまでは苦しいですが、その書き方に慣れてしまえば、書くことが楽しくなっていきます。大学という学び舎で、学問的文章を書くことの楽しさを経験してみませんか。学生の皆様がその経験を得られるように、よき支援を提供していきたいと思います。

(T.N)

「書く力」は、いまなお必要な力であると思います。とはいえ、自分の思いをただひたすらに書くのではなく、論理的、分析的に「書く」ことが大学では求められます。いわゆる「アカデミックライティング」という書く技術ですが、AWC では、そうした皆さんが自立した良い「書き手」となる支援を行っていければと思っています。ぜひお気軽に AWC へ足を運んでみてください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。(S.N)

専門性の高い文章を書くとなると、初めは誰でも難しいと感じますよね。かといって先生たちには、なかなか基礎的なことを聞きづらい……。でも、ライティングセンターでは、テーマ設定の相談、参考文献の探し方、構成の組み立て方や文章の推敲の仕方など、なんでも相談して大丈夫です。皆さんが自信をもってレポートが書けるようにお手伝いします。(E.S)

人に伝えるためのものである以上、文章を書くには参考文献の書き方・パラグラフの組み立て方などに関してのスタイルが求められます。初めのうちはスタイルを覚えるのに苦労すると思いますが、スタイルを身に付けると「それっぽい」文章が書けるようになります。「それっぽい」ものをたくさん書いていると、それに従って「それっぽい」思考ができるようになります。「それっぽい」思考をしていると、文章の中身まで「それっぽい」ものになります。そして、いつか「本物」になります。AWC ではこのサイクルのお手伝いをしています。書けていても書けていなくても、是非相談しにきて下さい。(S.S)



大学に入学し、突然レポートや論文というアカデミックな文章を書けと言われて、戸惑っている人は沢山いらっしゃると思います。私自身も大変困りました。どんな読み手にとってもわかりやすく、自分の主張をしっかりと相手に伝える、説得力のある文章を書くには、やはり一定のスタイルがあるということを、私も学部生のときにもっと早く知りたかったです。これは課題作成だけでなく、様々な面で必要なスキルなはずです。皆さんが自分の考えや主張を外に発信していく上での、様々な悩みや不安に寄り添えるように、支援していきたいと思っております。(R.Y)

大学のレポート・論文は、高校までの作文や感想文とは異なります。今年は学びの環境が制限されていることもあり、はじめて書く大学のレポート・論文の書き方に戸惑っている新入生の方も多いのではないのでしょうか。そんなとき、AWCは皆さんのお悩みにお応えします。アカデミックな文章の書き方は一朝一夕に身につくものではありません。一緒に悩みや不安な点を共有し、文章力の向上につながるよう私たちがお手伝いします。ぜひお気軽にご利用ください。お待ちしております！(K.M)

